

令和 5 年 6 月 12 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K02057

研究課題名（和文）映像アーカイブ・システム構築に向けた研究～関西大学人権問題研究室映像資料を中心に

研究課題名（英文）Research for the Construction of Video Archive Systems

研究代表者

松山 秀明（Matsuyama, Hideaki）

関西大学・社会学部・准教授

研究者番号：80803163

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：大学において消失の危機にある映像資料を活用し、これからのテレビ・アーカイブ研究に向けた活動を行った。具体的には、関西大学人権問題研究室で保管されていた約500本のテレビ番組資料を収集し、専属のスタッフ数名を雇用し、デジタル化作業を行った。また、それらを「ジェンダー」「差別」「地方」「アジア」といったテーマに分類し、論文執筆や口頭発表、大学の研究利用を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本の大学は欧米に比べると歴史資料として映像を収集・保存・活用する研究施設に乏しいのが現状である。とくに古い映像資料（ことにテレビ番組）はビデオテープの劣化や、再生機器確保の困難もあり、大学としても早急にデジタル化作業を行っていく必要があった。本取組は、まずは大学に保管されている映像資料のデジタル化を行い、「映像アーカイブ・システムの構築」を行った。こうした取り組みは、これからの大学における映像資料の保存・活用システムの基盤をつくるうえで、また大学教育への活用としても社会的意義のあるものだった。

研究成果の概要（英文）：Utilizing video materials in danger of being lost at Kansai University, we conducted activities for the future Television archive research. Specifically, we collected approximately 500 programs stored at Institute of Human Rights Studies of Kansai University, hired several staff members, and digitized them. We also categorized them into themes such as "gender," "discrimination," "rural areas," and "Asia," and did writing the articles, presentations, and using for the lectures.

研究分野：テレビ研究

キーワード：テレビ アーカイブ

### 1. 研究開始当初の背景

2000年代後半以降、日本のテレビ研究は「アーカイブ論」全盛の時代を迎えている。多くの研究者たちがテレビ番組を資料として論じる「検証の時代」が始まった。しかし、日本では歴史資料としてテレビ番組を論じることはまだ黎明期で、研究方法として確立していない。

本研究で長期的な目標としているのは、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の「UCLA Film & Television Archive」における取組である。UCLAは校内に「プロダクション機能 (School of Theater、Film And Television)」のほか、「アーカイブ機能」も持っている。この両軸の機能はUCLAの特徴であり、過去の映像を用いた実践として学ぶべき点は多い。

こうした世界的な研究動向を参考にしつつ、本研究の目標は、大学内に「デジタル映像アーカイブ・システム」を確立していくことである。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、大学におけるデジタル映像アーカイブ・システムの構築を目指し、まずは関西大学に保管された映像資料(主にテレビ番組)の保存および大学教育への活用を行うことである。

近年、日本の映像研究分野において「アーカイブ」概念が注目され、とりわけ2018年の国立映画アーカイブの設立などを契機として、歴史的な映像を収集し、保存し、活用する動きが活発化している。しかし、ことに日本の大学では欧米に比べると歴史資料として映像を収集・保存・活用する研究施設に著しく乏しいのが現状である。とくに古い映像資料はビデオテープの劣化による消失や、再生機器確保の困難もあり、これから大学としても早急にデジタル化作業を行い、それらを有効に活用する「映像アーカイブ・システム」を構築していくことが急務であると考えられる。本取組は、大学に保管されている映像資料を用いながら、これからの映像アーカイブ・システムの構築に向けた活動を始動しようとするものである。大学における映像資料の保存・活用システムの基盤を確立し、大学教育に資することを目的とする。

### 3. 研究の方法

関西大学人権問題研究室で保管されていた約500本のテレビ番組資料を収集し、まず保存状態を確認した。上記500本の映像資料のデジタル化作業のため、専属のスタッフ複数名によってアーカイブ構築作業、映像および機器の管理、映像の周辺的な情報収集を行った。VHS再生機器、ベータ再生機などを購入し、これらの映像資料のデジタル化を行い、誰でもすぐに閲覧することができるアーカイブ・システムを構築した。



関西大学社会学部アーカイブ作業室

#### 4. 研究成果

コロナ禍で一時、デジタル化作業を中断したものの、全 500 本のうちのほとんどのデジタル化に成功した。そのうえで「デジタル映像アーカイブ」のシステムの試作版を完成した。同システムは、デジタル化した映像をシーン単位の情報（出演者名など）のメタデータを付与し、閲覧するものである。出演者名などから直接出演シーンを検索し、そのまま該当動画を再生することが可能になった。



構築した「デジタル映像アーカイブ」の画面例

さらに、研究代表者と研究分担者らが、これらの映像資料とシステムを用いた学会発表、論文投稿を行った。また、アーカイブを用いた講義での活用を進めた。

以上

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 松山秀明	4. 巻 71(5)
2. 論文標題 「南方放送史」再考 激戦地における放送工作とその潰散 フィリピンとビルマを例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 放送研究と調査	6. 最初と最後の頁 26-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24634/bunken.71.5_26	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 松山秀明	4. 巻 100
2. 論文標題 放送研究の歩みと課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 マス・コミュニケーション研究	6. 最初と最後の頁 35-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24460/mscom.100.0_35	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 松山秀明	4. 巻 176
2. 論文標題 テレビジョン・ツーリズム 家で旅を見ることの系譜	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 関西大学経済・政治研究所『研究双書 エキシビションとツーリズムの転回』	6. 最初と最後の頁 21-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32286/00026293	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 三浦文夫	4. 巻 53(1)
2. 論文標題 オンライン配信ライブコンサートに関する課題の整理	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関西大学社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 185-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32286/00025460	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 守如子	4. 巻 100
2. 論文標題 「女性とメディア」研究から「ジェンダーとメディア」研究へ 「炎上」を手がかりに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 マス・コミュニケーション研究	6. 最初と最後の頁 13-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24460/mscom.100.0_13	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松山秀明	4. 巻 53(2)
2. 論文標題 ホームにドラマが起きるとき 坂元裕二越しの 東京	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 106-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山秀明	4. 巻 2021年2月号
2. 論文標題 「シリーズ老障介護」が訴えるもの 障害を知らない、不寛容な社会に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 GALAC	6. 最初と最後の頁 78-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山秀明	4. 巻 2020年4月号
2. 論文標題 “覚悟”をきざむ 関西のテレビ局と1・17	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 GALAC	6. 最初と最後の頁 78-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川博司	4. 巻 52(8)
2. 論文標題 クイズ番組の今昔	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 178-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山秀明	4. 巻 69
2. 論文標題 テレビにみる高度成長期の東京 放送と首都の1964年	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『放送研究と調査』	6. 最初と最後の頁 44-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山秀明	4. 巻 1
2. 論文標題 テレメンタリーという思考 NHK『日本の素顔』と一九五〇年代	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 鳥羽耕史・山本直樹編『転形期のメディアオロジー 一九五〇年代日本の芸術とメディアの再編成』	6. 最初と最後の頁 183-206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守如子	4. 巻 1
2. 論文標題 「性の情報源の日中比較」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『「青少年の性行動 / 日中比較研究」報告書2019』	6. 最初と最後の頁 50-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守如子	4. 巻 1
2. 論文標題 「日本のBL：その特徴に注目して」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジェームズ・ウェルカー編『BLが開く扉：変容するアジアのセクシュアリティとジェンダー』青土社	6. 最初と最後の頁 97-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川博司	4. 巻 4
2. 論文標題 ポピュラー音楽の変容：音楽への社会的アプローチのために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ポピュラー音楽研究	6. 最初と最後の頁 15-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三浦文夫	4. 巻 38(4)
2. 論文標題 アーティストの才能に光を当てる「アーティストコモンズ」の提案	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 New media	6. 最初と最後の頁 7-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件／うち国際学会 1件）

1. 発表者名 松山秀明
2. 発表標題 「メディアから東京を考え、東京からメディアを考える」
3. 学会等名 日本マス・コミュニケーション学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 守如子
2. 発表標題 「歴史を書く、先行研究をまとめる」
3. 学会等名 日本マンガ学会オンライン研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroshi OGAWA
2. 発表標題 "City Pop as a Parallel World: Singing Idol Seiko Matsuda's pre 40th Anniversary Concert"
3. 学会等名 7th Inter-Asia Popular Music Studies Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 守如子
2. 発表標題 「青少年の性被害～デートDVと性暴力」
3. 学会等名 児童の発達と思春期の家庭教育国際研究会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 堀あきこ・守如子編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 287
3. 書名 『BLの教科書』	



1. 著者名 松山秀明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 362
3. 書名 テレビ越しの東京史 戦後首都の遠視法	

1. 著者名 南田勝也・木島由晶・永井純一・小川博司編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 202
3. 書名 音楽化社会の現在 統計データで読むポピュラー音楽	

1. 著者名 檜田美雄・栗田宣義・好井裕明・三浦耕吉郎・小川博司編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 244
3. 書名 新社会学研究	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三浦 文夫  (Miura Fumio)  (00636342)	関西大学・社会学部・教授   (34416)	
研究分担者	守 如子  (Mori Naoko)  (70454593)	関西大学・社会学部・教授   (34416)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	小川 博司  (Ogawa Hiroshi)  (80185511)	関西大学・社会学部・教授    (34416)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関